

「応用物理教育」原稿作成要領

The format requirements for the manuscript

応物次郎*, 教育太郎**
Jiro Obutsu* and Taro Kyoiku**

*〇〇大学理工学部, 〒102-0073 東京都千代田区東町 1-1
**島根県立△△高等学校, 〒690-0873 島根県松江市西町 1-110

*Faculty of Science and Technology, 〇〇 University
1-1 Higashi-machi, Chiyoda-ku, Tokyo, 102-0073 Japan

**Shimane Prefectural △△ High School
1-1 Nishi-machi, Matsue, Shimane, 690-0873 Japan

Abstract

The format requirements for the manuscript to be submitted to Japanese Journal of Applied Physics Education (Oyo Buturi Kyoiku) are described. The manuscript should be neatly prepared on A4-size white papers according to the format requirements. Articles completed peer review will be published in the A4-size.

Keywords: style manual, manuscript, reduction rate

(受理 年 月 日)

1. はじめに

「応用物理教育」の投稿原稿は、原則として印刷用フォーマットで仕上げられたものに限り、受理された原稿はそのままの形式でPDFファイルに変換し印刷所に渡され、写真のコントラストなどを調整のうえ印刷されます。文章はワープロソフトを用い、横書きで作成して下さい。投稿に際し、本誌の「応用物理教育」投稿規定欄をご覧下さい。以下に本誌の原稿作成指針を示します。本ファイルはホームページからダウンロードできますので、テンプレートとして使用して下さい。

ここに示したようなフォーマットでの原稿作成が困難な場合には、申し出があれば、編集委員会においてワープロソフトを用いて原稿を仕上げます。その場合は、原稿提出時に投稿票にその旨を記載して下さい。作成実費は著者負担となります。ただし、テキスト、図表などの電子ファイルが添付されていないものは、お受けできません。

2. ページ数と最終ページの体裁

それぞれの記事の初めのページは、奇数ページから始まり、偶数ページで終わるようにページ番号を打っていきます。そのため、できるだけ偶数ページにまとめるように原稿を作成して下さい。最終ページがページの途中で終わる場合には、できるだけ2段組の左右の下のラインが揃うように作成して下さい。

本誌への掲載が決定した原稿の著者には、発行後に掲載版原稿のPDFファイルを送ります。掲載号の贈呈や別刷の販売は行いません。

3. 用紙サイズとフォーマットの概略

原稿はA4版サイズで作成して下さい。2014年度から「応用物理教育」誌はA4版になっています。

原稿は、本稿のように、和文タイトル、英文タイトル、和文著者名、英文著者名、和文表記による所属機関の名称および所在地、同英文表記、英文要旨(50~150語程度)、キーワード(10語以内)、受理年月日ま

では一段組みとし、引き続き本文、謝辞、補遺（もしあれば）、参考文献は二段組みとします。なお、英文要旨およびキーワードの左右の余白（マージン）は、本稿のように本文よりも多めにとって下さい。

4. 受理年月日の挿入

掲載決定後に編集委員会が原稿受理日を挿入します。受理年月日は、1 ページ目のキーワードの後に一行空けて左詰めで記入します。受理年月日に続いて一行空けて本文とします。

5. 書式

本文の書き出しは一字空けて記載して下さい。原稿作成のフォームは以下の通りです。

ページの余白(マージン)

上 30 mm, 下 25 mm

左 20 mm, 右 20 mm

一行の文字数(2段組み部分) 23 文字

1 ページの行数 43 行

二段組みの断間の間隔 7mm

和文タイトル MS ゴシック 14pt

英文タイトル TimesNewRoman 12pt

和文著者名 MS ゴシック 11pt

英文著者名 TimesNewRoman 11pt

和文所属機関名 MS 明朝 10pt

英文所属機関名 TimesNewRoman 10pt

英文要旨 TimesNewRoman 10pt

Keyword TimesNewRoman 10pt

(受理年月日) MS ゴシック 10pt

章のタイトル MS 明朝 11pt

(数字は TimesNewRoman 11pt)

本文 MS 明朝 10pt

謝辞 (見出し) MS 明朝 11pt

謝辞 (本文) MS 明朝 9pt

参考文献 (見出し) MS 明朝 10pt

参考文献 (本文) MS 明朝/TimesNewRoman 9pt

本文の各ページには通し番号はつけないで下さい。句読点には「,」「.」を用いて下さい。和文フォントは MS 明朝体、英数字フォントは Times New Roman を標準とします。ただし、和文タイトルはゴシック体（ボールド無し）で 14pt とし、英文タイトルは Times New

Roman（ボールド無し）の 12 pt とします。著者名、著者英文名、所属機関名なども、ボールドにしないで下さい。本文における各項目の見出しは、本文よりやや大きめのサイズ（本稿では 11 pt）のボールド体を用いて、番号をつけます。ただし、本文中の参考文献は、) 付きの上付き数字で項目番号を表示下さい。英数字に和文の全角フォントは使用しないで下さい。

6. 図、表、写真ならびにその説明

図、表などは本文に貼り付けておいて下さい。写真は原則として白黒（モノトーン）とします。カラー写真印刷をする場合は、印刷実費を投稿者負担とします。

図と写真は同じ扱いとにして、それぞれの下に 9pt で図 1、図 2 と通し番号をつけ、続けて説明文（9pt）を記します。表の場合には、それぞれの上に 9pt で表 1、表 2 と通し番号をつけ、続けて説明文（9pt）を記します。図表はできるだけページの上か下にまとめるようにして下さい。

7. 数式や記号の表記

数式はワープロソフトの数式機能で作成して下さい。式にはカッコ（ ）で囲んだ通し番号をつけ、その行の右端に置き、数式は文章の一部とみなし、式の直後に、文脈に応じてピリオド「.」あるいはコンマ「,」をつけます。物理量を表す文字は斜体（イタリック）を用い、単位の記法は原則として SI 単位系を用いて下さい。

8. 謝辞

謝辞は、参考文献の前に書いて下さい。

謝辞

例：

「この研究は###の補助を受けて実施した研究成果である。」

9. シンポジウム報告の場合

物理教育分科会主催シンポジウムで報告した内容を査読付きの「研究論文」「実践報告」「ノート」として投稿する場合、謝辞の後に次のように記載して下さい。

「本論文の内容は###年##月##日に@@で開催された『###回物理教育に関するシンポジウム』で報告したものである。」

10. 参考文献の表記

文献は論文末尾に項目を設けてまとめて書いて下さい。本文中には通し番号で^{2,3)}などと9 ptの上付き文字で表記します。なお、本文中で文献を引用するときは、文献1(英文の場合はref. 1)と書いて下さい。一つの文献の終わりにはピリオドを打ちます。和文フォントはMS明朝体,英数字フォントはTimes New Romanを標準とします。

以下に示す参考文献の表記例は, 1)単行本, 2)学会雑誌(学術論文誌など), 3)国際会議論文または公開されている会議記録など, です。

1) 単行本: 著者, タイトル, 章またはページ(出版社, 出版年)の順で記載して下さい。ページは始ページと終ページを pp.1-12のように記載して下さい。

2) 学会雑誌: 著者, 雑誌のタイトル, 巻(号), 始ページ, (年)の順に記載します。ページは始ページと終ページを pp.95-98のように記載して下さい。

3) 国際会議あるいは公開している会議報告: 著者, 会議論文集タイトル, 始ページと終ページ, (年)の順に記載して下さい。ページは始ページと終ページを pp.122-124のように記載して下さい。

参考文献

- 1) 応物次郎: 基礎物理学, 第6章, pp.1-12 (応用物理出版社, 1966).
- 2) 教育太郎: 応用物理教育, **17** (2), pp.95-98 (1994).
- 3) Ichiro Sato: Proceedings of the 18th International Conference on Introductory Physics Education, pp.122-124 (1996).